

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 佐賀県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	佐賀県医療センター好生館	2
佐賀市	佐賀市立富士大和温泉病院	3
唐津市	唐津市民病院きたはた	4
多久市	多久市立病院	5
小城市	市民病院	6
太良町	町立太良病院	7
伊万里・有田地区医療福祉組合	伊万里有田共立病院	8

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		佐賀県	
市町村・組合名			
病院名		佐賀県医療センター好生館	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	811,442
決算規模(千円)	528,311,388
標準財政規模(千円)	274,027,726
財政力指数	0.36078
経常収支比率(%)	96.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,623			
1 経常収益	9,623			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	9,623			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,623			
2 経常費用	9,623			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	9,623			
(うち支払利息)	9,623	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名		佐賀市			
病院名		佐賀市立富士大和温泉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,392 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	49.9	51.6	61.1
療養	38	15.0	29.6	36.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	36.4	43.0	51.7
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	22.0	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	233,301	
決算規模(千円)	116,748,526	
標準財政規模(千円)	57,670,952	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,085,033			
1 経常収益	1,085,033			
(1) 医業収益	826,912			
(うち修正医業収益)	790,618			
入院収益	345,035			
外来収益	396,109			
診療収入計	741,144			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	85,768			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	258,121			
(うち国・都道府県補助金)	1,174			
(うち他会計補助・負担金)	169,041			
(うち長期前受金戻入)	81,449			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,455,119			
2 経常費用	1,455,119			
(1) 医業費用	1,385,849			
職員給与費	883,279	106.8	60.8	82.0
材料費	145,914	17.6	27.1	14.2
(うち薬品費)	115,690	14.0	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,215	3.5	11.8	6.1
減価償却費	93,517	11.3	8.6	12.5
経費	255,161	30.9	22.0	34.4
(うち委託料)	125,212	15.1	11.8	16.9
研究研修費	1,837			
資産減耗費	6,141			
(2) 医業外費用	69,270			
(うち支払利息)	22,452	2.7	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-370,086			
純損益	-370,086			
累積欠損金	-			
経常収支比率	74.6		93.0	93.1
医業収支比率	59.7		83.9	69.6
修正医業収支比率	57.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	24.8		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	18.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	60.5		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,519,239
1 固定資産	1,553,603
(1) 有形固定資産	1,553,603
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	965,636
(1) 現金及び預金	776,735
(2) 未収金及び未収収益	179,645
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,256
3 繰延資産	-
負債合計	1,837,961
1 固定負債	1,038,766
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,038,766
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	306,219
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	190,899
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,060
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	50,640
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	492,976
(1) 長期前受金	2,851,995
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,359,019
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	681,278
1 資本金	128,800
2 剰余金	552,478
(1) 資本剰余金	140,673
(2) 利益剰余金	411,805
負債・資本合計	2,519,239
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	204,218	205,335
資本勘定繰入	105,993	110,797
計	310,211	316,132

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名	唐津市				
病院名	唐津市民病院きたはた				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,573 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	56	86.1	84.8	84.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	86.1	84.8	84.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	117,373	
決算規模(千円)	86,880,713	
標準財政規模(千円)	35,447,284	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	117.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	690,815			
1 経常収益	690,815			
(1) 医業収益	571,703			
(うち修正医業収益)	532,015			
入院収益	363,881			
外来収益	137,770			
診療収入計	501,651			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	70,052			
(うち他会計負担金)	39,688			
(2) 医業外収益	119,112			
(うち国・都道府県補助金)	215			
(うち他会計補助・負担金)	93,894			
(うち長期前受金戻入)	14,555			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	706,824			
2 経常費用	700,759			
(1) 医業費用	673,962			
職員給与費	441,692	77.3	60.8	82.0
材料費	62,114	10.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	14,081	2.5	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,359	6.0	11.8	6.1
減価償却費	42,429	7.4	8.6	12.5
経費	125,362	21.9	22.0	34.4
(うち委託料)	44,944	7.9	11.8	16.9
研究研修費	987			
資産減耗費	1,378			
(2) 医業外費用	26,797			
(うち支払利息)	7,538	1.3	0.9	1.2
(3) 特別損失	6,065			
経常損	-9,944			
純損	-16,009			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.6		93.0	93.1
医業収支比率	84.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	78.9		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	23.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	19.3		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	79.5		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,612,732
1 固定資産	955,935
(1) 有形固定資産	949,247
(2) 無形固定資産	6,688
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	656,797
(1) 現金及び預金	611,161
(2) 未収金及び未収収益	44,650
(3) 貸倒引当金()	1,396
(4) 貯蔵品	2,382
3 繰延資産	-
負債合計	875,913
1 固定負債	549,977
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	357,759
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	192,218
(6) リース債務	-
2 流動負債	93,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,443
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,945
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	232,494
(1) 長期前受金	526,184
(2) 長期前受金収益化累計額()	293,690
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	736,819
1 本金	137,639
2 剰余金	599,180
(1) 資本剰余金	177,223
(2) 利益剰余金	421,957
負債・資本合計	1,612,732
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	133,582	133,582
資本勘定繰入	16,937	16,937
計	150,519	150,519

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名	多久市				
病院名	多久市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,363 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	53.7	55.8	46.8
療養	45	44.8	44.2	46.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	49.9	50.8	46.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.6	18.7	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	18,295	
決算規模(千円)	17,660,973	
標準財政規模(千円)	6,707,410	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,211,174			
1 経常収益	1,211,174			
(1) 医業収益	1,039,028			
(うち修正医業収益)	999,253			
入院収益	567,575			
外来収益	415,273			
診療収入計	982,848			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	56,180			
(うち他会計負担金)	39,775			
(2) 医業外収益	172,146			
(うち国・都道府県補助金)	625			
(うち他会計補助・負担金)	138,852			
(うち長期前受金戻入)	10,650			
(うち資本費繰入収益)	17,597			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,581,504			
2 経常費用	1,432,200			
(1) 医業費用	1,384,007			
職員給与費	791,304	76.2	60.8	69.3
材料費	296,800	28.6	27.1	18.4
(うち薬品費)	199,098	19.2	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	85,841	8.3	11.8	9.1
減価償却費	59,742	5.7	8.6	10.8
経費	233,856	22.5	22.0	29.9
(うち委託料)	138,902	13.4	11.8	13.7
研究研修費	2,305			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	48,193			
(うち支払利息)	252	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	149,304			
損益	-221,026			
純損益	-370,330			
累積欠損金	487,335			
経常収支比率	84.6		93.0	91.6
医業収支比率	75.1		83.9	77.4
修正医業収支比率	72.2		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.7		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	17.2		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	14.7		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	72.1		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,274,460
1 固定資産	782,851
(1) 有形固定資産	782,347
(2) 無形固定資産	504
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	491,609
(1) 現金及び預金	344,014
(2) 未収金及び未収収益	132,905
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	14,690
3 繰延資産	-
負債合計	656,987
1 固定負債	340,207
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	53,072
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	278,266
(6) リース債務	8,869
2 流動負債	221,176
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,479
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,222
(6) リース債務	9,667
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	121,705
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	95,604
(1) 長期前受金	283,700
(2) 長期前受金収益化累計額()	188,096
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	617,473
1 資本金	1,104,808
2 剰余金	-487,335
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-487,335
負債・資本合計	1,274,460
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	178,627	178,627
資本勘定繰入	19,997	19,997
計	198,624	198,624

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	46.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名	小城市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,538 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	37.2	36.9	31.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	37.2	36.9	31.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	14.6	15.2

設立団体の状況	
人口(人)	43,952
決算規模(千円)	25,083,230
標準財政規模(千円)	12,820,460
財政力指数	0.42
経常収支比率(%)	94.9
健全化判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.9
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,027,410			
1 経常収益	1,027,410			
(1) 医業収益	855,663			
(うち修正医業収益)	817,672			
入院収益	459,723			
外来収益	310,330			
診療収入計	770,053			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	85,610			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	171,747			
(うち国・都道府県補助金)	1,102			
(うち他会計補助・負担金)	133,511			
(うち長期前受金戻入)	31,316			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,298,378			
2 経常費用	1,298,378			
(1) 医業費用	1,271,852			
職員給与費	810,754	94.8	60.8	82.0
材料費	120,913	14.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	52,362	6.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,605	7.8	11.8	6.1
減価償却費	54,175	6.3	8.6	12.5
経費	215,818	25.2	22.0	34.4
(うち委託料)	93,535	10.9	11.8	16.9
研究研修費	69,649			
資産減耗費	543			
(2) 医業外費用	26,526			
(うち支払利息)	1,629	0.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-270,968			
純損益	-270,968			
累積欠損金	-			
経常収支比率	79.1		93.0	93.1
医業収支比率	67.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	64.3		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	20.0		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	16.7		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	65.9		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,923,675
1 固定資産	510,783
(1) 有形固定資産	510,247
(2) 無形固定資産	536
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,412,892
(1) 現金及び預金	2,271,157
(2) 未収金及び未収収益	136,829
(3) 貸倒引当金()	1,052
(4) 貯蔵品	5,958
3 繰延資産	-
負債合計	650,420
1 固定負債	345,121
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,676
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	323,445
(6) リース債務	-
2 流動負債	139,581
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,081
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,166
(6) リース債務	631
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	51,381
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	165,718
(1) 長期前受金	538,128
(2) 長期前受金収益化累計額()	372,410
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,273,255
1 資本金	1,217,544
2 剰余金	1,055,711
(1) 資本剰余金	77,887
(2) 利益剰余金	977,824
負債・資本合計	2,923,675
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,502	171,502
資本勘定繰入	29,270	24,073
計	200,772	195,575

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				佐賀県	
市町村・組合名	太良町				
病院名	町立太良病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,606 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	68.9	68.8	70.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	68.9	68.8	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.7	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	8,121	
決算規模(千円)	7,172,781	
標準財政規模(千円)	3,627,427	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,214,017			
1 経常収益	1,190,819			
(1) 医業収益	921,791			
(うち修正医業収益)	886,528			
入院収益	583,957			
外来収益	272,203			
診療収入計	856,160			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	65,631			
(うち他会計負担金)	35,263			
(2) 医業外収益	269,028			
(うち国・都道府県補助金)	400			
(うち他会計補助・負担金)	119,858			
(うち長期前受金戻入)	50,277			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,198			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,203,204			
2 経常費用	1,198,687			
(1) 医業費用	1,035,178			
職員給与費	619,628	67.2	60.8	82.0
材料費	112,533	12.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	45,023	4.9	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,510	7.3	11.8	6.1
減価償却費	95,309	10.3	8.6	12.5
経費	201,989	21.9	22.0	34.4
(うち委託料)	61,066	6.6	11.8	16.9
研究研修費	2,687			
資産減耗費	3,032			
(2) 医業外費用	163,509			
(うち支払利息)	18,847	2.0	0.9	1.2
(3) 特別損失	4,517			
経常損	-7,868			
純損	10,813			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.3		93.0	93.1
医業収支比率	89.0		83.9	69.6
修正医業収支比率	85.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	16.8		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	12.8		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	86.4		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,756,929
1 固定資産	1,576,834
(1) 有形固定資産	1,576,834
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,180,095
(1) 現金及び預金	2,024,675
(2) 未収金及び未収収益	150,004
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,416
3 繰延資産	-
負債合計	1,820,363
1 固定負債	1,441,073
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,170,637
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	270,436
(6) リース債務	-
2 流動負債	177,494
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	76,250
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,194
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	63,811
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	201,796
(1) 長期前受金	843,339
(2) 長期前受金収益化累計額()	641,543
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,936,566
1 資本金	1,343,814
2 剰余金	592,752
(1) 資本剰余金	51,112
(2) 利益剰余金	541,640
負債・資本合計	3,756,929
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,167	155,121
資本勘定繰入	71,252	71,252
計	229,419	226,373

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		佐賀県	
市町村・組合名	伊万里・有田地区医療福祉組合		
病院名	伊万里有田共立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	17,283 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	202	67.3	60.6	69.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	39.5	36.4	28.9
計	206	66.8	60.1	68.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	13.5	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	568	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	77.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,953,227			
1 経常収益	3,938,706			
(1) 医業収益	3,538,511			
(うち修正医業収益)	3,403,246			
入院収益	2,681,605			
外来収益	565,266			
診療収入計	3,246,871			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	291,640			
(うち他会計負担金)	135,265			
(2) 医業外収益	400,195			
(うち国・都道府県補助金)	3,272			
(うち他会計補助・負担金)	193,789			
(うち長期前受金戻入)	188,852			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,521			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,162,418			
2 経常費用	4,157,838			
(1) 医業費用	3,979,509			
職員給与費	2,187,887	61.8	60.8	66.2
材料費	567,781	16.0	27.1	21.2
(うち薬品費)	232,928	6.6	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	328,854	9.3	11.8	10.1
減価償却費	301,100	8.5	8.6	9.5
経費	912,202	25.8	22.0	28.6
(うち委託料)	531,581	15.0	11.8	14.4
研究研修費	8,819			
資産減耗費	1,720			
(2) 医業外費用	178,329			
(うち支払利息)	35,290	1.0	0.9	1.0
(3) 特別損失	4,580			
経常損益	-219,132			
純損益	-209,191			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.7		93.0	89.9
医業収支比率	88.9		83.9	79.3
修正医業収支比率	85.5		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	86.8		81.6	77.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,890,574
1 固定資産	4,672,447
(1) 有形固定資産	4,452,924
(2) 無形固定資産	6,068
(3) 投資その他の資産	213,455
2 流動資産	2,218,127
(1) 現金及び預金	1,032,371
(2) 未収金及び未収収益	673,690
(3) 貸倒引当金()	15,669
(4) 貯蔵品	28,378
3 繰延資産	-
負債合計	4,679,118
1 固定負債	2,479,310
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,479,310
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	971,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	303,291
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	161,209
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	504,890
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,228,063
(1) 長期前受金	2,964,993
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,736,930
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,211,456
1 資本金	1,291,446
2 剰余金	920,010
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	920,010
負債・資本合計	6,890,574
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	538,637	329,054
資本勘定繰入	120,953	163,703
計	659,590	492,757

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。